

# 令和 3 年度 事業報告

令和 3 年 4 月 1 日から

令和 4 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

## 目 次

I 現況	1
1 事業	1
2 役員等	1
3 評議員	1
4 顧問等	1
5 事務局	2
6 地区組織	2
7 事業資金	2
II 評議員会・理事会・幹事会等	3
1 評議員会	3
2 理事会	3
3 監事会	7
III 事業実施の概要	8
1 一般事業	8
2 普及事業	9
3 振興事業	10
4 助成事業	11
5 その他助成事業	13
IV 登記事項、届出・報告事項	14
V 附属明細書について	15

## I 現況

### 1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

### 2 役員等（令和4年3月31日現在）

代表理事

会 長（代表理事）	沼崎 富（星翁）
副会長	多田稔雄（正稔）、徳田良子（寿風）
専務理事（代表理事）	池内賢二
常務理事（業務執行理事）	大田直樹
理 事	久米信行、武井涼子、徳永洋子、山田則夫（静将）、 吉田茂男（魁桜）、早淵淳子（河野鶴聲）、 大本則夫（翠山）、宮川 進（紫朋）、 渡邊明子（大伊達不朽）、妹尾桂子（藤上翔山）、 早淵 肇（鯉将）、安田幸代（水鈴）、入倉幸一（昭星）、 藤本大輔（誠堂）、清水 一（錦洲）、 福井美行（鈴木吟亮）、田中文夫（国臣）、 淡谷節子（遠藤晃楓）（理事 23名）
監 事	渡部行光、村尾秀夫（監事 2名）

### 3 評議員（令和4年3月31日現在）

加藤雅章、前田 晃、八代徹也、鷺野正明、  
多田 満（正満）、八文字勝利（剛洲）、安永利一（江悠）、  
原 眞人（青柳芳寿朗）、田中健治（岳藤）、  
山口英二（華雋）、横山信吾（精真）（評議員11名）

### 4 顧問等（令和4年3月31日現在）

(1) 顧問	22名
(2) 元老	91名
(3) 相談役	296名
(4) 参与	429名

## 5 事務局（令和4年3月31日現在）

所在地 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階

常勤役員2名、職員4名

## 6 地区組織

本会には51の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟（以下「公認総連盟」）があり、それぞれの地区に以下の8つの地区連絡協議会（以下「地区連協」）を設けている。

（括弧内は公認総連盟名）

- （1）北海道地区連絡協議会（中央、南部、北部、東部、北紋：5地域）
- （2）東北地区連絡協議会（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟：7県）
- （3）東日本地区連絡協議会（山梨、群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、神奈川、東京：8都県）
- （4）中部地区連絡協議会（静岡、愛知、長野、富山、石川、福井、岐阜、三重：8県）
- （5）近畿地区連絡協議会（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山：6府県）
- （6）中国地区連絡協議会（岡山、広島、山口、鳥取、島根：5県）
- （7）四国地区連絡協議会（香川、愛媛、徳島、高知：4県）
- （8）九州地区連絡協議会（福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄：8県）

## 7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人日本財団等からの助成金、寄附金による。

## II 評議員会・理事会・監事会等

### 1 評議員会

#### (1) 第10回評議員会

- 決議日 令和3年6月30日(水) 成立
- 開催場所 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議にて開催
- 決議事項
1. 日本財団からの文書「基本財産及び普及事業基金の毀損に係る適正な処置について」の概要について
  2. 日本財団からの文書「基本財産及び普及事業基金の毀損に係る適正な処置について」に関連した再質問書への回答について
  3. 広渡英治前専務理事の役員退職慰労金不支給について
  4. 基本財産の処分について
  5. 令和2年度事業報告・決算報告及び内閣府への報告書類提出について
  6. 定款の改正について
  7. 理事、監事の選任について
  8. 評議員の選任について
  9. 新任常勤理事の報酬について
- 同意者 82名全員

#### (2) 第11回評議員会

- 決議日 令和4年3月12日(金)
- 開催場所 笹川記念会館4階会議室
- 決議事項
1. 定款改正に関する件について
- 報告事項
1. 業務執行状況について
  2. 令和4年度事業計画及び予算案について
  3. 月刊誌の改革について
- 出席等
- |      |                         |
|------|-------------------------|
| 評議員数 | 出席 10名、欠席 1名 (評議員 11名中) |
| 監事   | 出席 1名、欠席 1名 (監事 2名中)    |
| 理事   | 出席 4名                   |

### 2 理事会

#### (1) 第22回理事会

- 決議日 令和3年6月6日(日) 成立
- 開催場所 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議にて開催
- 決議事項
1. 令和2年度事業報告・決算報告及び内閣府への報告書類提出について
  2. 規程の新規制定と既存規程の改正について
- 報告事項
1. 日本財団からの文書への回答及び再質問について
  2. 令和3年度予算に係る日本財団への助成再申請について
  3. 旅費規程細則の変更について
- 同意者 34名全員

## (2) 第23回理事会

決議日 令和3年7月5日(月)

開催場所 笹川記念会館(東京都港区三田) 4階第1、2会議室

- 決議事項
- 1.代表理事、業務執行理事の選任に関する件
  - 2.顧問、元老、相談役、参与の選任に関する件
  - 3.規程の改正及び廃止に関する件
  - 4.少壮吟士夏季特別研修会に関する件
  - 5.全国名流吟剣詩舞道大会の取り扱いに関する件
  - 6.令和3年度事業計画及び予算案に関する件

- 報告事項
- 1.業務執行状況について
  - 2.日本財団との折衝について
  - 3.令和4年度全国コンクール指定吟題について
  - 4.第10回評議員会開催について
  - 5.日本吟剣詩舞振興会の財政推移と全国大会の在り方について
  - 6.月刊「吟と舞」について
  - 7.中退共への加入について
  - 8.文化庁「伝統文化親子教室」事業への申請状況について
  - 9.振興会の財政基盤強化について

出席等 理事 出席22名、欠席1名(理事23名中)  
監事 出席1名、欠席1名(監事2名中)

## (3) 第24回理事会

決議日 令和3年7月29日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

- 決議事項
- 1.松葉水緑、尾崎水紅両少壮吟士への懲戒処分解除に関する件
  - 2.少壮吟士夏季特別研修会に関する件
  - 3.全国吟詠、剣詩舞コンクール決勝大会に関する件
  - 4.ワーキンググループ制導入に関する件
  - 5.月刊「吟と舞」に関する件

- 報告事項
- 1.業務執行状況について
  - 2.今年度日本財団助成事業決定内示について
  - 3.来年度剣詩舞コンクール指定吟題CD制作のための少壮吟士特訓について
  - 4.国立劇場公演について
  - 5.今後の本部主催全国大会の考え方についての確認について
  - 6.NHK吟詠放送について
  - 7.月刊誌の購読料引き落とし処理のミスについて
  - 8.その他

出席等 理事 出席23名(理事23名中)  
監事 出席2名(監事2名中)

#### (4) 第25回理事会

決議日 令和3年9月2日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

- 決議事項
- 1.ワーキンググループメンバーに関する件
  - 2.令和3年度全国吟詠、剣詩舞コンクール決勝大会に関する件
  - 3.令和4年度全国吟剣詩舞道大会(仮称)に関する件
  - 4.吟詠、剣詩舞各専門委員会の委員選出に関する件

- 報告事項
- 1.業務執行状況について
  - 2.国立劇場公演実施について
  - 3.令和3年度少壮吟士夏季特別研修会実施について
  - 4.令和4年度剣詩舞CD制作について
  - 5.全国大会申し込みに関する日本武道館との折衝について
  - 6.文化庁伝統文化親子教室について
  - 7.令和4年度日本財団助成事業申請について
  - 8.吟剣詩舞大賞候補者推薦について
  - 9.令和4年度全国大会会場費の支払いについて
  - 10.その他

出席等 理事 出席21名、欠席2名 (理事23名中)  
監事 出席2名 (監事2名中)

#### (5) 第26回理事会

決議日 令和3年10月28日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

- 決議事項
- 1.令和3年度全国吟詠、剣詩舞コンクール決勝大会に関する件

- 報告事項
- 1.業務執行状況について
  - 2.令和4年度事業に係る日本財団助成申請について
  - 3.令和2年度日本財団助成事業監査結果について
  - 4.ワーキンググループの進捗状況について
  - 5.沼崎会長と笹川陽平日本財団会長との対談実施について
  - 6.令和4年度文化庁伝統文化親子教室事業募集について
  - 7.第35回吟剣詩舞大賞について
  - 8.その他

出席等 理事 出席21名、欠席2名 (理事23名中)  
監事 出席2名 (監事2名中)

## (6) 第27回理事会

決議日 令和3年12月9日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 なし

報告事項 1.業務執行状況について

2.令和3年度全国剣詩舞、吟詠コンクール決勝大会実施について

3.令和3年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会及び

第49回全国少壮吟詠家審査コンクール決勝大会について

4.令和4年度全国吟剣詩舞道大会について

5.広報ワーキンググループからの報告について

6.ファンドレイジングワーキンググループからの報告について

7.令和4年度全国吟詠、剣詩舞コンクール決勝大会地区別出場枠について

8.令和4年度文化庁伝統文化親子教室事業応募状況について

9.港区文化芸術活動継続支援事業への申請について

10.令和5年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催時期について

11.その他

出席等 理事 出席19名、欠席4名 (理事23名中)

監事 出席1名、欠席1名 (監事2名中)

## (7) 第28回理事会

決議日 令和4年2月3日(木)

開催場所 オンライン会議システムを使用して開催

決議事項 1.令和3年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会に関する件

2.令和4年度全国吟剣詩舞道大会に関する件

報告事項 1.業務執行状況について

2.第49回全国少壮吟詠家審査コンクール決勝大会について

3.令和5年度全国名流吟剣詩舞道大会の開催時期について

4.広報ワーキンググループからの報告について

5.ファンドレイジングワーキンググループからの報告について

6.日本ゲートボール連合(日本財団関連団体)の活動について

7.その他

出席等 理事 出席20名、欠席3名 (理事23名中)

監事 出席2名 (監事2名中)

## (8) 第29回理事会

決議日 令和4年3月12日(土)

開催場所 笹川記念会館4階会議室

決議事項 1.令和4年度事業計画及び収支予算(案)及び付帯決議について  
2.吟剣詩舞普及事業基金の改正について  
3.評議員選任委員会の設置について  
4.役員の追加選任について

報告事項 1.日本財団からの令和4年度助成金の内示について

2.業務執行状況について

3.第49回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会について

4.第52回全国吟剣詩舞道大会について

5.令和4年度地区別コンクール出場者並びに講習会等各地区別割当について

6.「吟と舞」増刊号ムックについて

7.月刊誌販売状況について

8.本部スタジオの利用促進について

9.その他

出席等 理事 出席20名、欠席3名 (理事23名中)

監事 出席1名、欠席1名 (監事2名中)

## 3 監事会

### (1) 令和2年度決算監事監査

決議日 令和3年6月30日(水)

開催場所 財団事務局会議室

内容 1.事務局長挨拶

2.事業概要報告

3.決算報告

4.監事による確認

5.監事の押印

6.定款の改正について

7.理事、監事の選任について

8.評議員の選任について

9.新任常勤理事の報酬について

出欠 監査人として監事2名 ※他1名は電話にて別途説明

日本吟剣詩舞振興会 5名

### Ⅲ 事業実施の概要

#### 1 一般事業

##### (1) 組織化促進事業

全国8地区連絡協議会の運営がそれぞれの書記局において行われた。

##### ① 各地区連絡協議会の運営

- ◎各地区連絡協議会執行部会議等の開催
- ◎地区内の公認各吟剣詩舞道総連盟の組織運営への協力
- ◎地区内会員の掌握と会員間諸問題の調整
- ◎振興会行事への協力

##### (2) 協力援助事業

吟剣詩舞優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行った。

##### ① 傘下団体の行う行事に対する協力援助

傘下団体の行う吟剣詩舞に関する行事39件に対し、後援名義の貸与等の協力を行った。

##### ② 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門に対する協力援助

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま2021」吟詠剣詩舞部門の協賛を行うとともに、同大会参加校生徒並びに引率者に対する旅費の援助を行った。

開催日 令和3年8月4日(水)

場 所 和歌山市民会館(和歌山県和歌山市)

出演者 23都府県 227名

補助金 1,553,955円

青少年育成推進のための協力援助

##### ◎青少年大会開催に対する協力援助

- ・第12回東京都青少年吟剣詩舞発表大会
- ・第32回栃木県青少年育成吟剣詩舞道大会

※コロナ禍により中止。一部費用が発生。

計 194,200円

##### (3) 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

##### ◎第42回吟詠専門委員会

開催日 令和3年11月27日(土)

場 所 笹川記念会館4階第6会議室

出席等 吟詠専門委員 出席11名 (11名中)

オブザーバー 3名 事務局 3名

◎第43回吟詠専門委員会

開催日 令和4年3月12日(土)

場 所 笹川記念会館4階第5会議室

出席等 吟詠専門委員 出席11名 (11名中)

オブザーバー 3名 事務局 2名

◎第53回剣詩舞専門委員会

開催日 令和3年11月26日(金)

場 所 笹川記念会館4階第5会議室

出席等 剣詩舞専門委員 出席9名、欠席1名(10名中)

オブザーバー 3名 事務局 3名

◎第54回剣詩舞専門委員会

開催日 令和4年2月12日(土)

場 所 静鉄ホテルプレジオ東京田町3階レストラン

出席等 剣詩舞専門委員 出席9名、欠席1名(10名中)

オブザーバー 2名 事務局 3名

#### (4) 功労者表彰事業

令和3年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

第35回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞功労賞に次の5氏を選考し表彰した。

吟剣詩舞大賞	芸術賞	徳田 寿風	吟詠家・香川県
〃	功労賞	八文字 剛洲	吟詠家・東京都
〃	功労賞	杉山 翔鴻	吟詠家・静岡県
〃	功労賞	山口 華雋	吟詠家・大阪府
〃	功労賞	向山 侑吟	吟詠家・熊本県

## 2 普及事業

### (1) 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行った。

- ① 日本吟剣詩舞振興会Webサイトの運用促進を図った。
- ② 新聞、雑誌などへの広報活動を行った。
- ③ 吟詠・剣詩舞スーパーチームの派遣
- ④ NHKテレビ・ラジオ収録への協力

### 3 振興事業

#### (1) 発表会開催事業

令和3年5月5日（水・祝）に熊本県熊本市の熊本城ホールにて全国名流吟剣詩舞道大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、開催中止とした。

#### (2) 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。 ※( )内は前年度販売実績

・吟剣詩舞道漢詩集（絶句編）解説書	33部	(82部)
・吟剣詩舞道漢詩集（律詩・古詩編）解説書	46部	(57部)
・吟剣詩舞道漢詩集（続絶句編）解説書	32部	(72部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（絶句編）	149部	(135部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（律詩・古詩編）	57部	(70部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（続絶句編）	110部	(124部)
・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』	11部	(22部)

#### (3) 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに情報誌として、月刊「吟と舞」を発行した。

令和4年3月31日現在の有料発行部数は4,816部（昨年度末5,377部）である。

#### (4) 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（CD、カセットテープ）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（同）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

また、和歌の吟詠をまとめたCD「和歌新撰集「令和」」の製作頒布を行った。

※( )内は前年度販売実績

教材としての吟詠集の製作頒布数

・令和4年度吟剣詩舞道吟詠集CD	3,417本	(31本)	※昨年度は新作製作無し
・よみがえる名吟集CD	26本	(17本)	
・和歌新撰集「令和」CD	48本	(108本)	

教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	439本	(286本)
・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	5本	(5本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	250本	(195本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	3本	(1本)

#### 4 助成事業（日本財団助成事業）

##### （1）吟剣詩舞普及振興のためのコンクールおよび講習会の開催

① 事業の実施内容	（開催日）
1. 令和3年度全国剣詩舞コンクール決勝大会	令和3年11月27日（土）
2. 令和3年度全国吟詠コンクール決勝大会	令和3年11月28日（日）
3. 令和3年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会	令和4年2月13日（日）
4. 第49回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会	令和4年3月13日（日）
5. 講習会（少壮吟士夏季特別研修会）の開催	令和3年8月28日（土）
6. 第52回全国吟剣詩舞道大会の開催準備	令和4年5月5日（木）
7. 令和4年度全国吟詠コンクール決勝大会の開催準備	令和4年9月19日（月）
	（予定）

##### ② 事業目標の達成状況

1. 令和3年度全国剣詩舞コンクール決勝大会
2. 令和3年度全国吟詠コンクール決勝大会
3. 令和3年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会  
2年ぶりに全国吟詠コンクール並びに全国剣詩舞コンクール、全国剣詩舞群舞コンクールを開催することができ、吟剣詩舞道界最大のコンクールとして全国の吟詠家・剣詩舞家が日頃の研鑽の成果を競い合うことにより、吟剣詩舞道界の発展と普及振興、さらには全体の技量向上の場となった。

4. 第49回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会  
全国少壮吟詠家審査コンクールは日本吟剣詩舞振興会認定少壮吟士として吟界を牽引する人物を発掘すると同時に、少壮吟詠家の日頃の研鑽の成果を競い合う場であり、今回の決選大会では5名が入選し、うち2名が3回目の入選を果たし少壮吟士候補となった。

5. 講習会（少壮吟士夏季特別研修会）の開催  
講習会を通じて、日本吟剣詩舞振興会が認定する少壮吟士の技能向上と少壮吟士としての役割の理解を深め、心構えを養うことができた。また、初めてオンラインの形式で開催したが、新しい指導の在り方を試行することができた。

6. 第52回全国吟剣詩舞道大会の開催準備
7. 令和4年度全国吟詠コンクール決勝大会の開催準備  
共に令和4年度開催予定の準備のため、令和3年度内に会場を確保する必要があることから、それぞれの大会を実施する会場の使用料の支払いを行った。

##### ③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額	22,419,796円
助成金	22,419,000円
自己負担分	796円

## (2) 吟剣詩舞普及振興のための調査研究

### ① 事業の実施内容

#### 1. 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

(1) 時期：令和3年8月～令和4年5月

(2) 内容： a.スーパーチームや少壮吟士の活動、各種イベント等、各メディアを通じた定期的な情報発信・更新を行った。

b.タブレット端末を貸与し、各地区の活動状況の情報収集及び共有を実施した。

#### 2. 各地区連絡協議会との意見交換会の開催

(1) 日時：令和3年8月3日(火)、11月6日(土)、12月18日(土)

(2) 場所：8月…和歌山(近畿)、11月…熊本(九州)、12月…岡山(中国)

(3) 参加人数：8月…8人、11月…10人、12月…10人

(4) 内容：各地区における吟剣詩舞の現況について意見交換を行った。

#### 3. 吟詠・剣詩舞スーパーチーム研修会の開催

(1) 日程：令和4年3月6日(日)、3月27日(日)

(2) 場所：3月6日…兵庫県神戸市、3月27日…愛知県東海市

(3) 参加人数：3月6日…7人、3月27日…10人

(4) 内容：吟詠・剣詩舞スーパーチームメンバーの技術向上のため、吟詠、剣詩舞各指導者からの指導を行った。

### ② 事業目標の達成状況

#### 1. 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

各種事業の開催に合わせた広報展開や、ウェブサイトとテレビ局を連動させた告知などを行い吟剣詩舞道の広報促進に努めた。また、公式ウェブサイトの改修を行い、わかりやすさ・スマートフォンでの見やすさなどの改善を行った。日本吟剣詩舞振興会の公式YouTubeチャンネルの更新をかなり頻繁に行ったため、チャンネル登録者数が増加し、視聴可能動画数も2,700超となり繰り返し楽しんでいただくことができた。

#### 2. 各地区連絡協議会との意見交換会の開催

コロナ禍が収まらず、地方へ出張する機会が制限されたため、意見交換会の開催が3地区のみに留まった。

#### 3. 吟詠・剣詩舞スーパーチーム研修会の開催

吟詠、剣詩舞のスーパーチームのメンバーがそれぞれ神戸と名古屋で別々に集まって練習を行った。スーパーチームのメンバーでもコロナ禍の関係から、練習に参加できない方が多くいたが、スーパーチームの吟詠及び剣詩舞の教官より、事前に不足している点等を丁寧な指導でオンラインにて確認したので、実地練習において十分、確認することができた。

### ③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額 54,710,417円

助成金 54,710,000円

自己負担分 700,417円

## 5 その他助成事業、受託事業

### (1) 港区文化芸術活動支援事業

① 助成元

東京都港区

② 助成金の対象事業

当会が実施した第49回少壮吟詠家審査コンクール決選大会の会場費に対する助成

③ 金額

決定金額：300,000円

④ 事業期間

令和4年3月13日（日）～令和4年3月13日（日）まで

### (2) 令和3年度伝統文化親子教室事業

① 委託者

文化庁

② 対象事業者

1. 静岡県掛川市：松風流掛川吟詠会
2. 大分県大分市：小天真道流幼少年青年部会
3. 大分県大分市：淡窓伝光霊流日本詩道会総本部

③ 金額

決定金額：897,000円

使用金額：45,180円

※コロナ禍のため、当初に予定していた教室の多くが開催することが出来なかった。

④ 事業期間

令和3年6月1日（火）～令和4年2月28日（月）まで

#### **IV 登記事項、届出・報告事項**

##### **1 登記事項**

令和3年4月22日

- ・理事、監事、評議員の変更

##### **2 届出・報告事項**

令和3年10月20日

- ・定款の変更等（内閣府）

令和4年3月28日

- ・定款の変更（内閣府）

令和4年3月29日

- ・事業計画書の提出（内閣府）

## V 附属明細書について

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和4年6月  
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会